

# ヘキサック<sup>®</sup>ローション

開封日

年 月 日

# ヘキサック<sup>®</sup>ローション

## 速乾性手指消毒薬 ヘキサック<sup>®</sup>ローション 500mL

※2016年5月改訂（第4版）  
2015年1月改訂（第3版）

### (2) その他の副作用

頻度不明

過敏症 1)	発疹、蕁麻疹等
皮膚 2)	刺激症状

1) このような症状があらわれた場合には、直ちに使用を中止し、再  
用しないこと。

2) このような症状があらわれた場合には、使用を中止すること。

### 4. 適用上の注意

(1) 投与経路 手指消毒以外の目的には使用しないこと。

#### (2) 使用時

1) 本剤の使用中に誤って眼に入らないように注意すること。眼に入っ  
た場合には、直ちによく水洗すること。

2) 引火性・爆発性があるため、火気には十分注意すること。

※ 3) 溶液の状態で長時間皮膚と接触させた場合に皮膚化学熱傷を起こ  
したとの報告があるので、注意すること。

### 5. その他の注意

クロルヘキシジングルコン酸塩製剤の投与によりショック症状を起こした患  
者のうち数例について、血清中にクロルヘキシジンに特異的なIgE抗体が  
検出されたとの報告がある。

【薬効薬理】ヘキサックローションは、黄色ブドウ球菌、表皮ブドウ球菌、  
大腸菌、緑膿菌、セラチア、カンジダを 30 秒以内ですべて殺菌した。

### 【取扱上の注意】

1. 血漬・膿汁等の有機性物質が付着している場合は、十分洗い落としてから  
使用すること。

2. 予備洗浄に石けんを用いた場合は石けん分を十分洗い落としてから使用  
すること。

3. 本剤の付着した白布を次亜塩素酸ナトリウム等の塩素漂白剤で漂白する  
と、褐色のシミができることがある。漂白には過炭

酸ナトリウム等の酸素系漂白剤が適当である。

4. 本剤はアルコールを含有しているため床にこぼれ  
ると変色する場合がありますので注意すること。

【文献請求先】吉田製薬株式会社 学術部 東京都中野区中央5-1-10



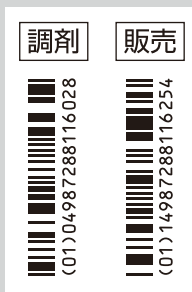
ポンプ:PP  
キャップ:PP  
ボトル:PE  
ラベル:PS

## 速乾性手指消毒薬

# ヘキサック<sup>®</sup>ローション

## Hexizac lotion

## クロルヘキシジン製剤 500mL



製造  
番号  
使用  
期限



ヨシダ製薬

アルコール類 水溶性  
危険等級Ⅱ エタノール

火気厳禁

【注意】希釈せず、  
原液のまま使用すること。

日本標準商品分類番号  
872619

承認番号 (08AM) 0334  
薬価収載 薬価基準対象外  
販売開始 2002年11月

貯法: 避光した気密容器に入れ、  
火気を避けて保存  
使用期限: ラベルに記載

製造販売元  
吉田製薬株式会社  
埼玉県狭山市南入曽951

400

## 速乾性手指消毒薬 ヘキサック<sup>®</sup>ローション 500mL

### 【禁忌(次の場合は使用しないこと)】

1. クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある者
2. 腔、膀胱、口腔等の粘膜面(クロルヘキシジン製剤の上記部位への使用によ  
り、ショック症状(初期症状:悪心・不快感・冷汗・眩暈・胸内苦悶・呼吸困難・  
発赤等)の発現が報告されている。)
3. 損傷皮膚及び粘膜(エタノールを含有するので、損傷皮膚及び粘膜への使  
用により刺激作用を有する。)

### 【組成・性状】

1. 組成 本剤 100mL中、クロルヘキシジングルコン酸塩0.2gを含む。  
添加物として、エタノール、トリイソオクタン酸グリセリン、N-ココイ  
ル-L-アルギニンエチルエステルDL-ピロリドンカルボン酸塩を含む。
2. 性状 本剤はエタノールを含有する無色透明の液で特異な臭いを有する。

### 【効能・効果】

手指の消毒

### 【用法・用量】

本剤をそのまま使用する

### 【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の場合には慎重に使用すること)
  - (1) 薬物過敏症の既往歴のある者
  - (2) 喘息等のアレルギー疾患の既往歴、家族歴のある者
2. 重要な基本的注意

200

(1) ショック等の反応を予測するため、使用に際してはクロルヘキシジン製  
剤に対する過敏症の既往歴、薬物過敏体質の有無について十分な問診  
を行うこと。

(2) 本剤は希釈せず、原液のまま使用すること。

### 3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施してい  
ない。

(1) 重大な副作用

ショック(0.1%未満): ショックがあらわれることがあるので、観察を十分  
に行い、悪心・不快感・冷汗・眩暈・胸内苦悶・呼吸困難・発赤等があ  
らわれた場合には、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

100

## ヘキサック<sup>®</sup>ローション

### 速乾性手指消毒薬 ヘキサック<sup>®</sup>ローション 500mL

(2) その他の副作用  
頻度不明

過敏症 <sup>1)</sup>	発疹、蕁麻疹等
皮膚 <sup>2)</sup>	刺激症状

- 1) このような症状があらわれた場合には、直ちに使用を中止し、再使用しないこと。
- 2) このような症状があらわれた場合には、使用を中止すること。

4. 適用上の注意

- (1) 投与経路 手指消毒以外の目的には使用しないこと。
- (2) 使用時

- 1) 本剤の使用中に誤って眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には、直ちによく水洗すること。
  - 2) 引火性・爆発性があるため、火気には十分注意すること。
- ※3) 溶液の状態で長時間皮膚と接触させた場合に皮膚化学熱傷を起こしたとの報告があるので、注意すること。

5. その他の注意

クロルヘキシジングルコン酸塩製剤の投与によりショック症状を起こした患者のうち数例について、血清中にクロルヘキシジンに特異的なIgE抗体が検出されたとの報告がある。

【薬効薬理】ヘキサックローションは、黄色ブドウ球菌、表皮ブドウ球菌、大腸菌、緑膿菌、セラチア、カンジダを30秒以内ですべて殺菌した。

【取扱上の注意】

1. 血清・膿汁等の有機性物質が付着している場合は、十分洗い落としてから使用すること。
2. 予備洗浄に石けんを用いた場合は石けん分を十分洗い落としてから使用すること。
3. 本剤の付着した白布を次亜塩素酸ナトリウム等の塩素漂白剤で漂白すると、褐色のシミができることがある。漂白には過炭酸ナトリウム等の酸素系漂白剤が適当である。
4. 本剤はアルコールを含有しているため床にこぼれると変色する場合がありますので注意すること。

【文献請求先】吉田製薬株式会社 学術部 東京都中野区中央5-1-10



ポンプ:PP  
キャップ:PP  
ボトル:PE  
ラベル:PS

開封日

年 月 日

※2016年5月改訂（第4版）  
2015年1月改訂（第3版）

### 速乾性手指消毒薬

## ヘキサック<sup>®</sup>ローション Hexizac lotion

### クロルヘキシジン製剤 500mL

調剤

販売



(01)004987288116028



(01)14987288116254

製造  
番号  
使用  
期限



ヨシダ製薬

アルコール類 水溶性  
危険等級Ⅱ エタノール

火気厳禁

【注意】希釈せず、  
原液のまま使用すること。

日本標準商品分類番号  
872619

承認番号 (08AM) 0334  
薬価収載 薬価基準対象外  
販売開始 2002年11月

貯法: 避光した気密容器に入れ、  
火気を避けて保存  
使用期限: ラベルに記載

製造販売元  
吉田製薬株式会社  
埼玉県狭山市南入曽951

## ヘキサック<sup>®</sup>ローション

### 速乾性手指消毒薬 ヘキサック<sup>®</sup>ローション 500mL

【禁忌(次の場合は使用しないこと)】

1. クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある者
2. 腔、膀胱、口腔等の粘膜面〔クロルヘキシジン製剤の上記部位への使用により、ショック症状(初期症状:悪心・不快感・冷汗・眩暈・胸内苦悶・呼吸困難・発赤等)の発現が報告されている。〕
3. 損傷皮膚及び粘膜(エタノールを含有するので、損傷皮膚及び粘膜への使用により刺激作用を有する。)

【組成・性状】

1. 組成 本剤100mL中、クロルヘキシジングルコン酸塩0.2gを含む。  
添加物として、エタノール、トリイソオクタン酸グリセリン、N-ココイル-L-アルギニンエチルエステルDL-ヒロリドンカルボン酸塩を含む。
2. 性状 本剤はエタノールを含有する無色透明の液で特異な臭いを有する。

【効能・効果】

手指の消毒

【用法・用量】

本剤をそのまま使用する

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の場合には慎重に使用すること)
  - (1) 薬物過敏症の既往歴のある者
  - (2) 喘息等のアレルギー疾患の既往歴、家族歴のある者
2. 重要な基本的注意
  - (1) ショック等の反応を予測するため、使用に際してはクロルヘキシジン製剤に対する過敏症の既往歴、薬物過敏性質の有無について十分な問診を行うこと。
  - (2) 本剤は希釈せず、原液のまま使用すること。
3. 副作用  
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
  - (1) 重大な副作用  
ショック(0.1%未満): ショックがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、悪心・不快感・冷汗・眩暈・胸内苦悶・呼吸困難・発赤等があらわれた場合には、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

400

300

200

100